

# 社会福祉法人 楽晴会

## 平成 27 年度（第 49 期） 決算総評

### 1. 事業活動成績

「サービス活動収益」（年商）は 17 億 4,584 万円で、前年度比 6,878 万円の増益、「サービス活動費用」（経費）は 16 億 5,390 万円で、前年度比 1 億 1,074 万円の増額となりました。

「サービス活動増減差額」（営業利益）は 9,193 万円で、前年度比 4,195 万円の減益、「営業利益率」は 5.3%で、2.7%の減少となりました。詳しい内容については、以下でご説明いたします。

### 2. サービス活動収益

「サービス活動収益」は 17 億 4,584 万円で、前年度比 6,878 万円の増益となりました。新規事業所開設、既存事業の採算向上等が主な要因となっております。以下、内訳です。

#### 2-1. 施設介護料収益

1 億 9,437 万円で、前年度比 1,162 万円の減益となりました。この科目は、三沢老人ホームへ長期入所されているお客様の分の収益です。質の高いサービスの提供、空床期間の短縮によるベッド稼働率向上を維持しておりますが、平成 27 年 4 月の介護報酬マイナス改定（全体で $\Delta 2.27\%$ ）の影響を受け、減益となっております。

#### 2-2. 居宅介護料収益

4 億 5,453 万円で、前年度比 542 万円の減益となりました。この科目は、通所介護（デイサービス）や訪問介護（ホームヘルパー）、訪問入浴、訪問看護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護などいわゆる「在宅サービス」の収益です。

要因としては、はるが丘デイサービスセンター（21.5%）、三沢訪問看護ステーション（12.1%）、大津ヘルパーステーション（19.2%）、大津デイサービスセンター（44.9%）等においてご利用者の増加や利用率の増加、介護度アップとなっておりますが、三沢デイサービスセンター（ $\Delta 10.2\%$ ）、松園デイサービス・スカイ（ $\Delta 7.5\%$ ）、ホームヘルパーステーション青空（ $\Delta 17.4\%$ ）、車返団地デイサービスセンター・スカイ（ $\Delta 12.0\%$ ）等が前年に比べ減少し、居宅全体としては減益となっております。平成 27 年 4 月の介護報酬マイナス改定（全体で $\Delta 2.27\%$ ）、ご利用者様の減少等が理由として上げられます。

### 2-3. 地域密着型介護料収益

4億5,531万円で、前年度比1,932万円の増益となりました。地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ぬくもりの家）や小規模多機能型居宅介護（コラボケアセンター）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の収益です。

要因としては、グループホームはるが丘（△4.5%）、松園グループホーム・スカイ（△3.2%）は減益となりましたが、岡三沢ぬくもりの家（7.8%）、栄町コラボケアセンター（14.7%）、車返団地コラボケアセンター（11.6%）等においてご利用者の増加等により増益となっております。

### 2-4. 居宅介護支援介護料収益

5,309万円で、前年度比252万円の増益となりました。この科目は、介護支援専門員（ケアマネジャー）によるケアプラン作成料です。平成26年10月に開設したはるが丘介護支援センターが増益となっているためです。

### 2-5. 利用者等利用料収益

1億9,774万円で、前年度比2,479万円の増益となりました。ご利用者様増によるものですが、平成27年8月介護保険法一部改正により、一定以上所得者の介護保険料2割負担がスタートしたことも影響しております。

### 2-6. 老人福祉事業収益

1億3,506万円で、前年度比140万円の増益となりました。この科目は、晴ヶ丘老人ホームの措置入所者分の収益で、平均入所者数が増加しております。（62.0名→62.3名）

### 2-7. 就労支援事業収益

1,196万円で、前年度比710万円の増益となりました。障害者就労移行支援及び就労継続支援B型事業で行っているソーラーパネルメンテナンス作業や三沢市の緑化推進業務、清掃業務等の収益に加えて、平成27年6月にオープンした就労継続支援A型事業（cafe42）のレストラン事業収益となっております。

### 2-8. 障害福祉サービス等事業収益

1億7,288万円で、前年度比4,440万円の増益となりました。障害者相談事業の相談件数の増加、障害者就労移行支援及び就労継続支援B型事業（平均15.3人→20.5人）、平成27年12月より開設した緑ヶ丘児童デイサービス（平均19.6人→27.5人）の影響によるご利用者増加、平成26年8月開設のインディペンデントI及び平成26年9月開設のパラアートみさわの増益によるものです。

### 2-9. 医療事業収益

2,214万円で、前年度比709万円の増益となりました。訪問看護事業の医療に係る収入（末期がん患者、難病等の患者や入院中に退院に向けて訪問看護を行う場合など）となっております。ご利用者の増加によるものです。（平均7.3人→10.4人）

## 2-10. その他事業収益

3,984 万円で、前年度比 226 万円の減益となりました。介護タクシー事業、サービス付き高齢者向け住宅事業（シニアライフ大津）、受託事業収入の収益です。シニアライフ大津入居者様の減少によるものです。（平均 32.5 人→29.7 人）

## 2-11. 経常経費寄附金収益

32 万円で、前年度比 0.1 万円の増益となりました。27 年度は地域住民様からテーブル、三沢小学校、青森県社協、トヨタレンタリース青森様から車椅子を計 4 台、楽晴会役員一同より冷蔵庫、キッチンワゴンの寄付を頂いております。

## 2-12. その他の収益

27 万円となっております。介護保険外サービスの自費サービス（見守り、通院介助、身体介助等）によるものです。

## 3. サービス活動費用

「サービス活動費用」は 16 億 5,390 万円で、前年度比 1 億 1,074 万円の増額となりました。以下、内訳です。

### 3-1. 人件費

11 億 0,808 万円で、前年度比 8,868 万円の増額となりました。人件費率（収入に占める人件費の割合）は 63.5%で、前年度比 2.7%増加となりました。主な要因としては平成 27 年 4 月報酬改定により処遇改善加算額（介護報酬）が上乘せされました。当会では処遇改善加算手当として常勤一人当たり約 10,000 円ベースアップを行っております。また今年度より賞与引当金を計上しているため、その分増額となっております。新規開設により職員配置を先行投資している緑ヶ丘拠点、既存事業の定員増による職員増も要因の一つとなっております。

### 3-2. 経費（事業費、事務費、就労支援事業費用、減価償却費等）

5 億 4,582 万円で、前年度比 2,206 万円の増額となりました。平成 27 年度開始のレストラン事業や緑ヶ丘児童デイサービスの経費増額、三沢老人ホームのボイラー煙突補強工事（784,080 円）、栄町拠点汚水ポンプ交換工事（273,240 円）、松園拠点エアコン基盤工事等（392,046 円）の修繕費がありましたが、原油安や暖冬の影響によるガソリン代、水道光熱費・燃料費等の削減やアメーバ経営の運用によるコスト管理により教養娯楽費、消耗器具備品費、事務消耗品費等の削減がなされました。

## 4. その他特記事項

その他のサービス活動外収益ですが、成年後見人等報酬助成金として 22 万円、雇用に関する助成金として 180 万円、原子力に関する給付金として 178 万円の交付を受けております。

特別増減の部では固定資産受贈益として 16 万円出ておりますが、松園ケアラウンジ・スカイへの寄付によるものです。

## 5. 総括

平成 27 年度の決算を総括しますと、収支状況ではサービス活動収益（年商）は増益、サービス活動増減差額（営業利益）は減益。人件費率は 2.7%増加、営業利益率は 5.3%となりました。当期活動増減差額（最終利益）は 9,273 万円で、前年比 1,602 万円の減益となりました。また財務状況では総資産が 29 億 2,865 万円で 5.9%の増加、純資産が 21 億 8,786 万円で 3.3%の増加、純資産比率は 74.7%で 1.9 ポイントの低下となっております。

主な変動要因として介護部門では既存施設・居宅系事業が平成 27 年 4 月の介護報酬マイナス改定の影響がでております。障害部門では平成 26,27 年度新規開設事業のお客様増加（増益）やそれに伴う運営に係る経費の発生による経費増などが挙げられます。なお当期活動増減差額（最終利益）が減益となっている要因は、大津拠点及び関東拠点の利用者数の伸び悩みや賞与引当金 7,020 万円を平成 27 年度から計上したことにより人件比率が増加していることが挙げられます。